

中3アスリート生 代表者による発表



第13号 2021年1月8日
 宮崎ワールドアスリート発掘・育成
 プロジェクト実行委員会事務局

〔野崎 綺音 さん〕



素晴らしい発表でした！



〔中田 聡太 さん〕

今回は、1期生の代表3名に、全WAP生と保護者に対して発表してもらいました。高校へ進学しても、パドミントン競技を継続しようとしている日高さん、陸上競技からカヌー競技へ転向する野崎さん、ソフトテニス競技からハンドボール競技へ転向する中田さん。3人の発表には、進学、進路についての悩みや迷い、将来への決意、そして、1期生として5年間WAPに取り組んだことに対する思いが語られました。キッズやジュニアのWAP生の心に灯をともし、多くの保護者に感銘を与える発表でした。



〔日高 智裕 さん〕

社会人アスリート講話



陸上競技
 清山 ちさと 選手

現役アスリートとして活躍されている陸上競技の清山ちさと選手と、ウエイトリフティング競技の中嶋梨香子選手を講師に迎え、これまでの競技の経験をお話し、思い描いた目標や夢を、どのようにして達成してきたかなどのお話をさせていただきました。



ウエイトリフティング競技
 中嶋 梨香子 選手



ウエイトリフティング
 競技用シューズ

2020.12.19

スクワットで、より深くしゃがめるようかかどが高い。



小中学生からトップ選手育成を目指す県の「ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト」で19日、県内の現役社会人アスリートによる講話が、宮崎市・ひなた真総合運動公園であった。陸上女子1000m障害の清山ちさと（いち）・宮交シテイと、重量挙げ女子の中嶋梨香子（MR）宮崎の放送が、小中学生の受から講義を受ける前に、競技生活を通して学んだことや競技への向き合い方などを語った。このうち清山は、夢や目標を持つこと、さらに目標を達成するための条件や課題を具体的に細かく考えることの重要性を

県「ワールドアスリート」説明。受講生に実際に目標や課題を書かせ、「このままでは、何のための練習が見えてくる。ただこなすより何倍も効果が変わる」と呼び掛けた。大塚中陸上部3年、舟橋美琳は「高校でも陸上を続けるので、入学するまでの練習計画もしっかり立てて取り組もう」と思っていた。土々呂中陸上部1年、尾前好孝も「先生から言われる練習メニューだけでなく、自分でも目標を立てて考えてみたい。宮崎からでも世界を目指せるんだと感じたので、自分も頑張ろうと思う」と気持ちを新たにしていた。

（高橋正一郎）

夢や目標を明確に 陸上清山ら小中生に講話



自分の夢や目標を書き、達成に向けた課題などを考えようという講話に呼び掛けた清山ちさと

12月21日の宮崎日日新聞に、講話の様子が掲載されました。

スポーツくじ

COCO BIG

私たちはスポーツ振興くじ助成を受けています。